

Cloud Virtual Machine

サーバー移行

製品ドキュメント



Tencent Cloud

著作権声明

©2013–2026 Tencent Cloud. 著作権を所有しています。

このドキュメントは、Tencent Cloudが著作権を専有しています。Tencent Cloudの事前の書面による許可なしに、いかなる主体であれ、いかなる形式であれ、このドキュメントの内容の全部または一部を複製、修正、盗作、配布することはできません。

商標に関する声明



およびその他のTencent Cloudサービスに関連する商標は、すべてTencentグループ下の関連会社主体により所有しています。また、本ドキュメントに記載されている第三者主体の商標は、法に基づき権利者により所有しています。

サービス声明

本ドキュメントは、お客様にTencent Cloudの全部または一部の製品・サービスの概要をご紹介することを目的としておりますが、一部の製品・サービス内容は変更される可能性があります。お客様がご購入されるTencent Cloud製品・サービスの種類やサービス基準などは、お客様とTencent Cloudとの間の締結された商業契約に基づきます。別段の合意がない限り、Tencent Cloudは本ドキュメントの内容に関して、明示または黙示の一切保証もしません。

カタログ:

サーバー移行

オンライン移行

オンライン移行の概要

移行操作ガイド

オンライン移行操作ガイド

移行ツールによるサーバー移行

コンソールによるワンクリックサーバー移行

移行ツールに関する説明

互換性とツール設定に関する説明

移行時間の見積もり

移行の課金に関する説明

オフライン移行

移行に関するご相談

サーバー移行 オンライン移行 オンライン移行の概要

最終更新日: 2023-07-27 10:58:56

オンライン移行とは、稼働中のシステムを停止することなく、サーバーまたは仮想マシン上のシステム、サービスプログラムなどを、自社のデータセンター(IDC)または他のクラウド プラットフォームなどの移行元環境から Tencent Cloudに同期または移行することです。

Tencent Cloudは「go2tencentcloud」移行ツールを提供します。移行ツールを移行元サーバーで実行すると、移行元サーバーで実行されているすべてのシステムとサービスアプリケーションをTencent Cloudの移行先 CVMに移行することができます。この移行ツールを使用すると、イメージの制作、アップロード、インポートなどの煩雑な準備作業を行う必要がなくなり、ソースデータをクラウドに直接移行できます。業務のクラウド化、異なるクラウドプラットフォーム間での移行、クロスアカウントまたはクロスリージョン移行、およびハイブリッドクラウド展開に関する企業のビジネス要件を満たすことができます。

❗ 説明:

ソースサーバーの形式は、物理サーバー、仮想マシン、または別のクラウドプラットフォーム上のクラウドサーバーにすることができます。その他のクラウドプラットフォームには、AWS、Google Cloud Platform、VMware、Alibaba Cloud、Huawei Cloudなどの仮想マシンプラットフォームが含まれますが、これらに限りません。

ユースケース

オンライン移行は、次のシナリオに適用できます(これに限定されません)。

- ITアーキテクチャのクラウド化
- ハイブリッドクラウドアーキテクチャの展開
- クラウド間移行
- アカウント間またはリージョン間での移行

オフライン移行との違い

オフライン移行では、移行元サーバーでシステムディスクまたはデータディスクのイメージを作成してから、イメージを Cloud Virtual Machine (CVM) または Cloud Block Storage (CBS) に移行する必要があります。オンライン移行はイメージを作成する必要がなく、移行元サーバーで移行ツールを直接実行して、移行元サーバーで実行されているすべてのシステムとサービスアプリケーションをTencent Cloudの移行先 CVMに移行することができます。

移行の開始

オンライン移行方法は大きく2種類あります。必要に応じて適切な移行方法を選択してください。

移行方法	概要	ユースケース	特徴
オンライン移行: クライアントからの移行元のインポート	ソースインスタンスにログインし、ツールを使用して移行元をインポートし、コンソールで移行タスクを作成して移行を完了します。	<ul style="list-style-type: none">パブリックネットワークおよびプライベートネットワーク経由での移行他のクラウドプラットフォームからTencent Cloudへの移行 顧客のデータセンター から Tencent Cloudへの移行	高い互換性
オンライン移行: コンソールでのワンクリック移行	コンソールにログインして本人確認完了後、移行元をワンクリックでインポートし、移行タスクを作成します。	<ul style="list-style-type: none">移行元サーバーにログインする必要はありませんパブリックネットワーク経由での移行クラウド間移行: ソースインスタンスがAlibaba Cloudにあるシナリオに適用されます。	ワンクリックで一括移行

よくあるご質問

詳細については、[サービスの移行](#) をご参照ください。

移行操作ガイド

オンライン移行操作ガイド

最終更新日: : 2023-07-27 10:58:56

オンライン移行は、稼働中のシステムを停止することなく、サーバーまたは仮想マシン上のシステム、サービスプログラムなどを、自社のデータセンター(IDC)または他のクラウドプラットフォームなどの移行元環境から Tencent Cloudに移行または同期することをサポートします。

オンライン移行方法は大きく2種類あります。必要に応じて適切な移行方法を選択してください。

移行方法	概要	ユースケース	特徴
オンライン移行: クライアントからの移行元のインポート	ソースインスタンスにログインし、ツールを使用して移行ソースをインポートし、コンソールで移行タスクを作成して移行を完了します。	<ul style="list-style-type: none">パブリックネットワークおよびプライベートネットワーク経での移行他のクラウドプラットフォームからTencent Cloudへの移行顧客のデータセンターからTencent Cloudへの移行	高い互換性
オンライン移行: コンソールでのワンクリック移行	コンソールにログインして本人確認完了後、移行元をワンクリックでインポートし、移行タスクを作成します。	<ul style="list-style-type: none">パブリックネットワーク経由での移行クラウド間移行: ソースインスタンスが Alibaba Cloud にあるシナリオに適しています	ワンクリックで一括移行コンソールでの操作

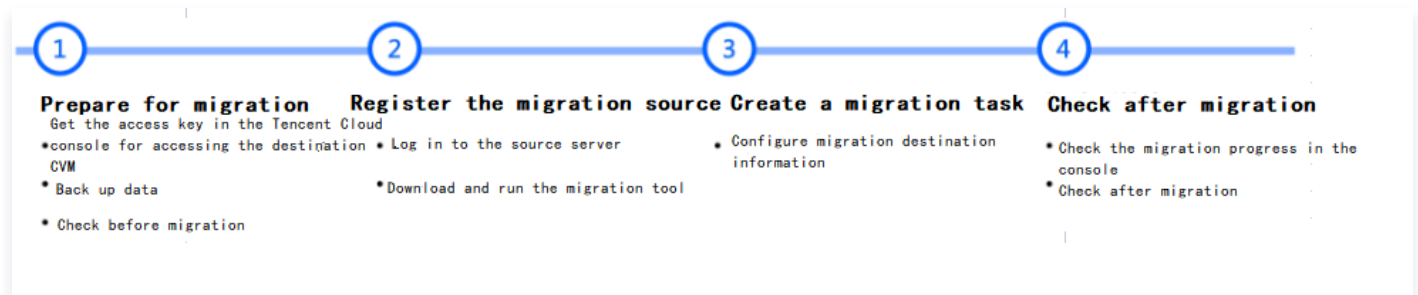
移行ツールによるサーバー移行

最終更新日: 2025-12-10 10:09:23

このドキュメントでは、クライアントから移行元をインポートして、移行元サーバーを Tencent Cloud CVM に移行する方法について説明します。

移行ワークフロー

クライアントから移行元をインポートする手順は以下のとおりです。



移行手順

手順1: 移行の準備

- **APIキー管理** ページに移動してキーを作成し、`SecretId` と `SecretKey` を取得します。
- 移行時に既存のアプリケーションに影響しないように、移行元サーバー上のアプリケーションを一時停止してデータをバックアップすることをお勧めします。
- 移行元サーバー: スナップショット機能またはその他の方法を使用して、移行元サーバー上のデータをバックアップできます。移行元サーバーは、移行されるサーバーです。
- 移行先CVM: [スナップショットの作成](#) などの方式を選択して、移行先CVMのデータをバックアップできます。
- サブアカウントを使用してコンソールで移行を実行する場合、ルートアカウントで [CAMコンソール](#) にログインし、サブアカウントにQcloudCSMFullAccessとQcloudCVMFullAccess権限を付与する必要があります。
- 移行前、実際の状況に基づいて次の構成を確認する必要があります。ご確認いただきたい内容は以下のとおりです:
 - CVM インスタンスへの移行: 移行元サーバーと移行先CVMを確認する必要があります。
 - CVM イメージへの移行: 移行元サーバーのみを確認します。

Linux
移行元
サー
バー

1. Virtio を確認してインストールします。詳細については、[LinuxでのVirtioドライバーの確認](#) をご参照ください。
2. `which rsync` コマンドを実行して、`rsync` がインストールされているかどうかを確認します。インストールされていない場合は、[rsync をインストールする方法](#) の指示に従ってインストールしてください。

	<p>3. SELinux が有効化されているかどうかを確認します。SELinuxが有効になっている場合は、SELinuxを無効化する方法 を参照して無効化してください。</p> <p>4. Tencent Cloud API に移行リクエストを送信した後、API は現在の UNIX 時間を使用して、生成されたトークンを確認します。サーバーのシステム時刻が正しいことを確認してください。</p>
Windows 移行元サーバー	<p>1. Virtio を確認してインストールします。詳細については、WindowsでのVirtioドライバーの確認 をご参照ください。</p> <p>2. (オプション)Cloudbase-Init を確認してインストールします。詳細については、WindowsへのCloudbase-Initのインストール をご参照ください。移行前に移行元サーバーにインストールするか、移行後にターゲットインスタンスにインストールするかを選択できます。移行前にインストールされている場合は、移行後にネットワークの自動構成やアクティベーションなどの初期化作業が行われます。</p> <p>移行前にインストールされていない場合は、VNC経由でインスタンスにログイン し、ネットワーク構成を手動で変更する必要があります。</p>
移行先CVM	<p>1. ストレージ容量: 移行先CVMのクラウドディスク (システムディスクとデータディスクを含む) には、移行元サーバーから移行されたデータを保存するための十分な容量が必要です。</p> <p>2. セキュリティグループ: セキュリティグループでポート80、443、および3389を開放します。</p> <p>3. 帯域幅: 移行をより円滑に進めるためには、移行元と移行先の両方の環境の帯域幅を最大化することをお勧めします。移行プロセス中に消費されるトラフィックは、移行されたデータの量とほぼ同じになります。必要に応じて、移行前にネットワーク課金モデルを調整します。</p> <p>4. ネットワーク設定: 移行元または移行先サーバーが IPv6 のみをサポートし、IPv4 をサポートしていない場合は、client.jsonファイルのパラメータ説明 をご参照ください。</p>

❗ 説明:

- `sudo ./go2tencentcloud_x64 --check` などのツールコマンドを使用して、移行元サーバーを自動的にチェックできます。
- デフォルトでは、go2tencentcloudツールは起動時に自動的にチェックを実行します。このチェックをスキップして強制移行する場合は、client.json ファイルの `Client.Extra.IgnoreCheck` フィールドの値を `true` に設定してください。

手順2: 移行元のインポート

移行ツールによる移行元のインポート

Linuxサーバー

1. 移行元サーバーで次のコマンドを実行して、移行ツール `go2tencentcloud.zip` をダウンロードしてディレクトリに進みます。

```
wget https://go2tencentcloud-1251783334.cos.ap-guangzhou.myqcloud.com/latest/go2tencentcloud.zip
```

```
unzip go2tencentcloud.zip
```

```
cd go2tencentcloud/go2tencentcloud-linux
```

❗ 説明:

`go2tencentcloud` ディレクトリ下のファイルは移行されません。移行するファイルをこのディレクトリに置かないでください。

2. (オプション) 移行元サーバー上で移行不要のファイルまたはディレクトリを除外します
Linux移行元サーバー上で移行不要のファイルおよびディレクトリがある場合、ファイルおよびディレクトリを `rsync_excludes_linux.txt` ファイル に追加できます。
3. 移行元をインポートします。
 - 3.1 例えば、64ビットのLinux移行元サーバーで、root ユーザーとして次のコマンドを順番に実行してツールを実行します。

```
chmod +x go2tencentcloud_x64
```

```
sudo ./go2tencentcloud_x64
```

- 3.2 **準備事項** で取得したアカウントのAPIアクセスキーの `SecretId` および `SecretKey` を入力し、Enterを押します。下図に示すとおり:

```
[root@VM-0-28-centos go2tencentcloud]# ./go2tencentcloud_x64
[2021-11-29 10:47:25] Start go2tencentcloud 2.2.3
[2021-11-29 10:47:25] Start loading data...
Please Enter SecretId: *****
Please Enter SecretKey: *****
```

次のメッセージが表示されたら、移行元サーバーは正常にインポートされています。CVM コンソール

ルに移動してサーバーを表示できます。

```
[2021-11-29 10:47:54] Load user.json successfully.
[2021-11-29 10:47:54] Load client.json successfully.
[2021-11-29 10:47:54] Calculating the size of file system, please wait...
[2021-11-29 10:47:55] Check environment...
[2021-11-29 10:47:59] Check environment successfully.
[2021-11-29 10:47:59] Start import source server...
[2021-11-29 10:47:59] Import source server [server-03tw3wlr] successfully.
```

Windowsサーバー

1. 移行ツールgo2tencentcloud.zipを移行元サーバーに [ダウンロード](#) またはアップロードします。この圧縮ファイルを解凍してgo2tencentcloudフォルダーを入手し、その中の「go2tencentcloud-windows」を開くと以下のディレクトリが表示されます。

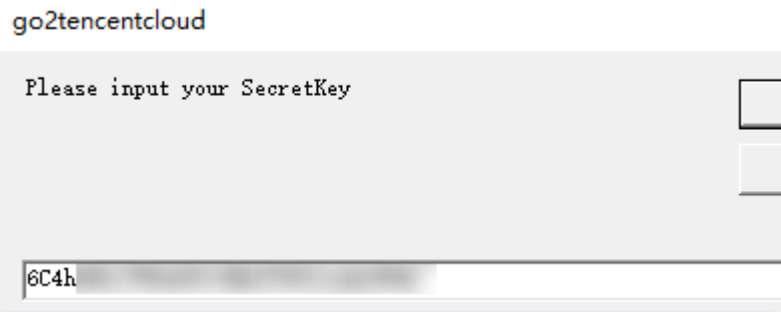
logs	2022/7/6 14:39
client.exe	2022/11/2 14:43
client.json	2022/11/2 14:43
go2tencentcloud_x64.exe	2022/11/2 14:43
user.json	2022/11/2 14:43

2. 以下の方法で「go2tencentcloud_x64.exe」アプリケーションを実行します。
 - 方法1: 「go2tencentcloud_x64.exe」を右クリックし、管理者権限で「go2tencentcloud_x64.exe」を実行し、ポップアップした画面でSecretId、SecretKeyを入力します。
 - 方法2: 管理者権限でcmdまたはpowershellコマンドライン: cd /d "go2tencentcloud_x64.exeが所在するディレクトリの絶対パス"を起動し、go2tencentcloud_x64.exeを実行します。
3. ポップアップした画面で Tencent Cloud API キー (SecretIdと SecretKey) を入力します。

```
go2tencentcloud

Please input your SecretId

AKID
```



```
go2tencentcloud
```

```
Please input your SecretKey
```

```
6C4h
```

4. 以下のメッセージが表示された場合は、移行元がすでにコンソールにインポートされています。コンソールで移行元を確認できます。

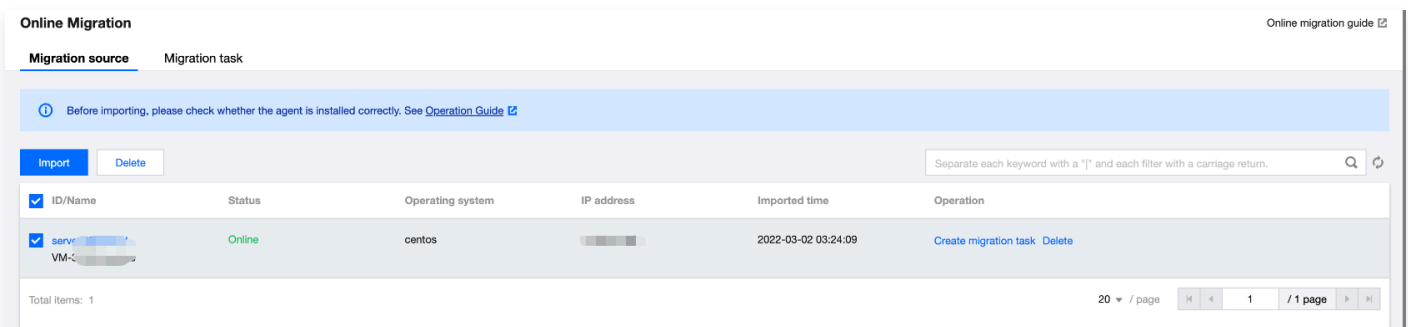
```
[2022-11-02 14:47:20] Start go2tencentcloud 2.2.3
If the input window does not pop up, there may be a problem with your operating system.
Try manually modifying the SecretId and SecretKey fields in user.json.
[2022-11-02 14:47:34] Load user.json successfully.
[2022-11-02 14:47:34] Load client.json successfully.
[2022-11-02 14:47:34] Calculating the size of file system, please wait...
[2022-11-02 14:47:34] Check environment successfully.
[2022-11-02 14:47:35] Start import source server...
[2022-11-02 14:47:35] Import source server [server-1111111111] successfully.
[2022-11-02 14:47:35] Start check migrate job status...
Waiting for a migrate job to be created in the console, Used: 00:00:03
```

🔔 説明:

「Import source server successfully」が表示されない場合は、移行元のインポートが失敗したことを意味します。ログ（デフォルトでは移行ツールディレクトリ下にあるlogs/logファイル）を確認して問題を解決した後、移行ツールを再実行して移行元をインポートすることができます。

コンソールでの移行元サーバーの確認

[オンライン移行コンソール](#) にログインし、インポートされた移行元を確認します。サーバーのステータスはオンラインとなっています。下図に示すとおり:



Online Migration Online migration guide

Migration source Migration task

Before importing, please check whether the agent is installed correctly. See [Operation Guide](#)

Import Delete 🔍

ID/Name	Status	Operating system	IP address	Imported time	Operation
<input checked="" type="checkbox"/> server-1111111111-VM-1111111111	Online	centos	111.111.111.111	2022-03-02 03:24:09	Create migration task Delete

Total items: 1 20 / page 1 / 1 page

⚠️ ご注意:

移行元を正常にインポートした後、移行タスクの実行が完了するまで、インスタンス内の移行ツールを停止しないでください。停止すると、移行元がオフラインになり、移行タスクを完了できません。

手順3: 移行タスクの作成

1. 移行タスクの作成

[オンライン移行コンソール](#) にログインし、対象の移行元がある行の右側の**移行タスクの作成**をクリックします。移行タスクの作成画面が表示されます。この画面で以下の情報を参照して設定します。下図に示すとおり:

Create migration task ✕

Selected: 1 **Migration source** [Collapse](#)

ID/name	Status	Operating system
[blurred]	Online	windows

▲ Basics

Target region

Task name

Task description

Target type CVM image CVM instance

Image name

Network mode Public network Private network

Configure incremental sync When it is enabled, you can configure the incremental sync duration.

Scheduled start time If it's not selected, only the task is created.

▶ Advanced (Optional)

移行タスクの詳細設定内容は、以下のとおりです。

● 基本オプション:

アイテム	入力必須	説明
移行先リージョン	はい	移行元サーバーの移行先となる Tencent Cloudリージョン。リージョンの詳細については、 リージョンとアベイラビリティゾーン ドキュメントをご参照ください。
タスク名	はい	移行タスクの名前。
タスクの説明	いいえ	移行タスクの説明。
ターゲットタイプ	はい	<p>Tencent Cloud に移行する移行元サーバーのターゲットタイプを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CVMイメージ: 移行完了後、移行元サーバーのCVMイメージが生成されます。イメージ名: 移行元に対して生成されるターゲットCVMイメージの名前。名前がすでに存在する場合は、移行タスク ID が名前に追加されます。 ● CVMインスタンス: 移行先リージョン内のCVMインスタンスを移行先として選択します。 移行先インスタンス: 移行先インスタンスと移行元サーバーには同じOSを使用することをお勧めします。例えば、CentOS 7 移行元サーバーを移行するには、移行先として CentOS 7 CVM を選択します。
ネットワークモード	はい	<p>データを転送するために使用されるネットワークタイプを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● パブリックネットワーク経由のデータ転送: 移行先CVMまたはリレーインスタ

		<p>ンスにデータを移行および転送する場合は、パブリックネットワークを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プライベートネットワーク経由のデータ転送: 移行先 CVM または リレー インスタンスにデータを移行および転送する場合は、プライベートネットワークを使用します。詳細については、プライベートネットワーク経由の移行 をご参照ください。 <p>Virtual Private Cloud (VPC) : CVM イメージに移行する場合、リレー インスタンスは VPC 内に作成されます。</p> <p>サブネット: CVM イメージに移行する場合、リレー インスタンスはサブネット内に作成されます。</p>
移行方法	はい	<p>Linux インスタンスの場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Linux ファイルレベルの移行: 移行の粒度はファイルレベルであり、互換性は高く、転送効率は比較的低くなります。 ● Linux ブロックレベルの移行: 移行の粒度はディスクのロジックストレージユニットの「ブロック」レベルであり、転送効率は高く、互換性は比較的低くなります。 <p>Windows ブロックレベルの移行: 移行の粒度はディスクのロジックストレージユニットの「ブロック」レベルであり、Windows 移行では、互換性が高く、転送効率が低いブロック</p>

		レベルの移行がデフォルトで採用されています。
増分同期の構成	いいえ	<p>増分同期時間をカスタマイズし、データを継続的に同期し、移行の配信時間を柔軟に制御します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 無効化: 移行ツールによって増分移行を自動的に認識して実行し、通常は1回実行されます。 ● 有効化: 増分同期の実行時間を自由に選択でき、ツールは増分データをTencent Cloudに継続的に同期します。タスクリストで増分同期を手動で停止することもできます。
予約実行時間	いいえ	移行タスクを作成後、設定した時間に自動的に移行タスクを開始します。予約実行時間は最短で現在時刻の10分後に設定できます。

● 高度な設定（オプション）：

アイテム	入力必須	説明
転送速度制限 (KB/s)	いいえ	移行中、データ転送の帯域幅の上限(0 ~ 25600 KB/s)。デフォルトでは 0 に設定されています。現在、Windows移行はこのオプションをサポートしていません。
Checksum 検証	いいえ	有効にすると、データの整合性チェックが強化されますが、転送速度は遅くなる場合があります。現在、Windows移行はこのオプションをサポートしていません。

2. 移行タスクの起動

❗ 説明:

スケジュールされたタスクは、この手順をスキップすることができます。移行タスクは、スケジュールされた時刻に移行を自動的に実行します。

移行タスクを作成した後、**移行タスクタブ**をクリックして移行タスクを確認することができます。下図に示すとおり：

The screenshot shows the 'Online Migration' console. At the top, there are tabs for 'Migration source' and 'Migration task'. Below the tabs is a search bar and a table of migration tasks. The table has columns for 'Task ID/name', 'Task status', 'Source ID/Name', 'Target region', 'Destination', and 'Operation'. One task is listed with ID 'migrate-1c7k0gh1 test-task', status 'Pending start up', source 'server-r8lbz6wd VM-32-69-centos', target region 'Guangzhou', and destination 'Guangzhou'. The 'Operation' column contains 'Create CVM instance' and buttons for 'Start/restart', 'Pause', and 'Delete'. A blue banner at the top of the table area says 'If the migration task fails, please check the migration logs. See Operation Guide'. The bottom of the table shows 'Total items: 1' and pagination controls for 20 items per page, currently on page 1 of 1.

タスクの右側にある**開始/リトライ**をクリックしてタスクを開始し、表示された画面から**OK**をクリックすると、移行タスクを開始できます。このとき、タスクのステータスは「**移行中**」に変わります。下図に示すとおり：

The screenshot shows the 'Online Migration' console with the same task as the previous image, but now the status is 'Migrating'. The 'Operation' column now includes 'Start/restart' and 'Pause' buttons. The rest of the interface, including the search bar and pagination, remains the same.

⚠️ ご注意：

- 移行先がCVM インスタンスの場合、移行開始後に移行先CVMは移行モードに入ります。移行を完了して移行モードが終了するまで、移行先CVMに対してシステムの再インストール、シャットダウン、破棄、パスワードのリセットなどの操作を行わないでください。
- 移行先がCVMイメージの場合、移行開始後にアカウント下に `do_not_delete_csm_instance` という名前のリレーインスタンスが作成されます。移行が完了して、今回作成されたリレーインスタンスが自動的に破棄されるまで、リレーインスタンスに対してシステムの再インストール、シャットダウン、破棄、パスワードのリセットなどの操作を行わないでください。

手順4：移行後のチェック

1. コンソールで移行の進行状況の確認

移行タスクのステータスが**成功**になると、移行処理が正常に完了したことを示します。下図に示すとおり：

The screenshot shows the 'Online Migration' console. At the top, there are tabs for 'Migration source' and 'Migration task'. Below the tabs, there is a blue banner with a warning icon and the text: 'If the migration task fails, please check the migration logs. See [Operation Guide](#)'. Below this, there are buttons for 'Start/restart' and 'Delete', and a search bar. The main area is a table with columns: Task ID/name, Task status, Source ID/Name, Target region, Destination, and Operation. One task is listed with ID 'migrate-1c7k0gh1 test-task', status 'Successful', source 'server-r8lzb6wd VM-32-69-centos', target region 'Guangzhou', and destination 'Guangzhou'. The operation column contains 'Create CVM instance Start/restart Pause Delete'. At the bottom, it shows 'Total items: 1' and pagination controls for 20 items per page, page 1 of 1.

❗ 説明：

- データ転送に必要な時間は、移行元データのサイズ、ネットワーク帯域幅などの要因に左右されます。移行が完了するまでお待ちください。
- 移行タスクの開始後、移行タスクのある行で**一時停止**をクリックすると、移行タスクを停止できます。
- 移行ツールはデータ転送の中断からの再開をサポートしています。タスクの一時停止後、**開始/リトライ**をクリックすると、前回一時停止したポイントから移行を継続できます。
- 移行タスクはデータ転送段階での一時停止のみサポートしています。コンソールでの移行タスク中に**一時停止**をクリックすると、移行ツールはデータ転送段階でデータの転送を一時停止します。
- 移行中に消費時間が長くなりすぎ、今回の移行を中止したい場合は、まず移行タスクを一時停止してから**削除**をクリックすると、今回の移行タスクをキャンセルすることができます。

2. 移行後のチェック

● 移行に失敗した場合：

–ログファイル（デフォルトでは移行ディレクトリ下のログファイル）に出力されている内容を確認し、操作ガイドまたは [サーバー移行に関するよくあるご質問](#) ドキュメントを参照し、問題のトラブルシューティングを行ってください。問題を解決した後、移行タスクの操作列で**開始/リトライ**をクリックすると、移行タスクを再開できます。

● 移行に成功した場合：

移行先がCVMの場合は、移行先CVMが正常に起動できるか、移行先CVMのデータが移行元サーバーと一致しているか、ネットワークが正常か、他のシステムサービスが正常かなどを確認してください。

移行先がCVMイメージの場合は、移行タスクのある行の**CVMイメージID**をクリックし、[CVMイメージページ](#)に進むとこのイメージの情報を確認でき、このイメージを使用してCVMインスタンスを作成することができます。

ご質問がある場合や移行エラーが発生した場合は、[サービス移行に関するFAQ](#) を参照するか、[お問い合わせ](#) ください。

コンソールによるワンクリックサーバー移行

最終更新日: 2026-05-15 11:01:56

このドキュメントでは、コンソールの「ワンクリック移行」方法を通じて移行元サーバーを Tencent Cloud CVM に移行する方法について説明します。

概要

ワンクリック移行は [オンライン移行](#) を簡潔化したソリューションであり、移行元サーバーへのログインやツールのダウンロードなどの複雑な操作が不要になり、ワンクリックで移行タスクを一括作成し、移行元サーバー上の OS やアプリケーションなどのデータを Tencent Cloud に一括移行することができます。

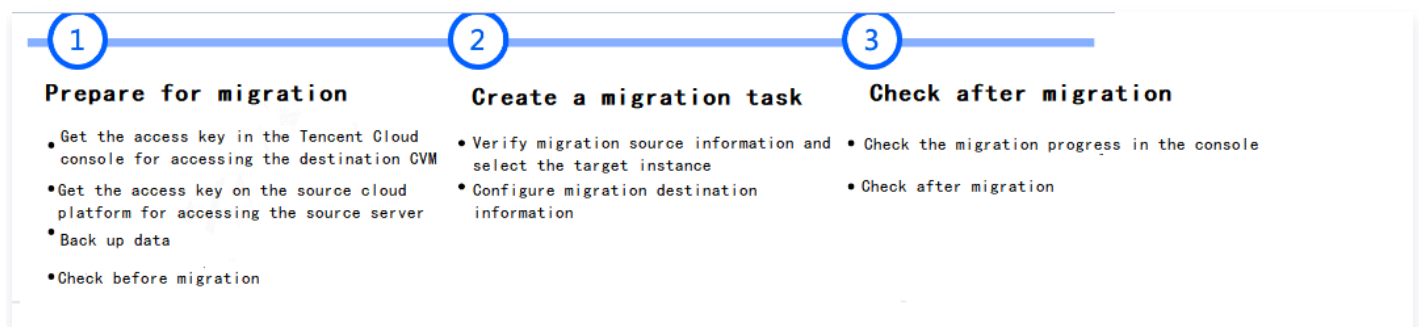
ワンクリック移行は、Linux オペレーティングシステムと Windows オペレーティングシステムの両方に適用されます。また、Tencent Cloud の CVM コンソールのオンライン移行ページを通じて、移行の進捗を照会できます。

制限事項

- コンソールのワンクリック移行は移行元サーバーの環境に一定の要件があります。移行元サーバーには対応するクラウドアシスタント（例：Alibaba Cloud ECS クラウドアシスタント）をインストールする必要があります。また、VPC ネットワークを利用する必要があります（クラシックネットワークはサポートしていません）。
- コンソールのワンクリック移行機能は継続的に最適化されているため、現在は特定のシナリオでのみサポートされています。ご要望を満たせない場合、[オンライン移行: クライアントから移行元のインポート](#) 方法を使用することをお勧めします。この移行方法はより強力な互換性を持っています。

移行ワークフロー

コンソールのワンクリック移行によるオンライン移行の流れを次の図に示します。



移行手順

手順1: 移行の準備

- Tencent Cloud コンソールからアクセスキーを取得します
CAM コンソールの [API キー管理](#) ページで API キーを作成し、SecretId と SecretKey を取得します。詳細については、[アクセスキー](#) をご参照ください。

! 説明:

サブアカウントを使用してコンソールで移行を実行する場合、ルートアカウントで [CAMコンソール](#) にログインし、サブアカウントにQcloudCSMFullAccess とQcloudCVMFullAccess 権限を付与する必要があります。

アカウントのセキュリティを確保するために、キー使用後はすぐに削除するか、権限を無効にしてください。

● 移行元クラウドプラットフォームでアクセスキーを取得します

例えば、Alibaba CloudのAccessKeyIdとAccessKeySecretを取得する手順は以下の通りです:

- 1.1 Alibaba Cloud RAMコンソールにログインして、**Identities > Users** ページに入ります。
- 1.2 **Create User**をクリックし、アクセス方法から**OpenAPI Access (他のアクセス方法を選択しても有効にならない)**を選択して、作成を確認した後、AccessKeyId とAccessKeySecretの情報を保存します。詳細な操作手順については、[RAM ユーザーの準備](#) をご参照ください。
- 1.3 ユーザリストから作成したユーザに**権限を追加**します。ECS 読み取り専用権限 (AliyunECSReadOnlyAccess) と ECS クラウドアシスタント管理権限 (AliyunECSAssistantFullAccess) を追加します。詳細な操作手順については、[Grant permissions to a RAM user](#) をご参照ください。

! 説明:

アカウントのセキュリティを確保するために、キー使用後はすぐに削除するか、権限を無効にしてください。

○ 移行元サーバーと移行先CVM上のデータのバックアップ (オプション)

移行中に既存のアプリケーションへの影響を回避するために、サーバー上のアプリケーションを一時停止し、データバックアップを行うことをお勧めします。

- 移行元サーバー: 移行元サーバーのスナップショット機能などを利用してデータをバックアップできます。移行元サーバーとは、移行対象のサーバーを指します。Windowsシステムの移行を行う場合、一時的にアンチウイルスソフトを無効にすることをお勧めします。移行ツールを誤検出して移行が失敗するのを防ぐためです。
- 移行先CVM: [スナップショットの作成](#) などの方式を選択して、移行先CVMのデータをバックアップできます。

○ 移行先CVMの確認

移行先がCVMインスタンスの場合は、移行先のCVMを確認する必要があります。

ターゲットCVM

- ストレージ容量: 移行先CVMインスタンスのCBS (システムディスクとデータディスクを含む) の数量は、移行元サーバーのディスク数量以上である必要があります。また、移行先CVMインスタンスのCBS容量は、移行元サーバーのディスク容量以上である必要があります。利便性のため、移行先CVMインスタンスのCBSの数量と容量を移行元サーバーと一致させることをお勧めします。

- セキュリティグループ: セキュリティグループで80、443、および3389ポートを開放します。
- 帯域幅の設定: より速い移行のため、両端の帯域幅を可能な限り拡大することをお勧めします。移行プロセス中にデータ量とほぼ同等のトラフィック消費が発生します。必要に応じて、事前にネットワーク課金モデルを調整してください。

- ワンクリック移行ページに入ります

- 1.1 CVMコンソールにログインし、サービス移行 > **オンライン移行** ページに入ります。移行元のインポートをクリックして、**移行元のインポート** ページに移動します。
- 1.2 ワンクリック移行を選択して、移行タスクを一括で作成することができます。

手順2: 移行タスクの作成

1. タスクの設定

タスクの名前と説明を入力します。


2. 移行元の設定

移行元サービスプロバイダーアカウントのAccessKey IDとAccessKey Secret（[取得方法](#)）を入力し、ソースサーバー情報とクラウドアシスタントへのアクセス権限があることを確認するために検証する必要があります。図のように:

ご注意:

キーを大切に保管してください。移行完了後に、キーを削除または無効化することをお勧めします。

● **移行元の情報**

サービスプロバイダ	<input type="radio"/> Alibaba Cloud ECS	<input type="radio"/> AWS EC2	<input type="radio"/> Tencent Cloud CVM
AccessKey ID *	<input type="text" value="AccessKey IDを入力してください"/>		
AccessKey Secret *	<input type="text" value="AccessKey Secretを入力してください"/> 		

AccessKey IDとAccessKey Secretを入力してソースインスタンスにアクセスします

検証

3. 移行先の設定

移行先のサービスプロバイダーはデフォルトではTencent Cloud CVMを選択します。**Tencent Cloud CVMの権限を取得**するために、Tencent Cloud APIキーのSecretIdとSecretKey（[取得方法](#)）を入力する必要があります。[APIキー管理](#) からキーの情報をそのままコピーできます。APIキーが正しくなければ、移行に失敗しますので、API キーが正しいことを確認してください。


⚠️ ご注意:

キーを大切に保管してください。移行完了後に、キーを削除または無効化することをお勧めします。

移行先の情報

サービスプロバイダ Tencent Cloud CVM [SecretIdとSecretKeyの新規作成](#)

SecretId *

SecretKey * 

移行ツールがTencent Cloud CVMにアクセスするように、SecretIdとSecretKeyを入力してください

4. 移行情報の設定

- 4.1 移行元の情報を確認したら、**移行元の追加**をクリックして、ポップアップした画面から移行するインスタンスを選択します。
- 4.2 画面の左上隅でリージョンを選択し、**リージョン内のインスタンスリスト**を取得します。リージョンの後の数字はインスタンスの数を示します。
- 4.3 移行するインスタンスを選択して、それが右側の**選択済み**リストに追加されます。

ⓘ 説明:

- マルチインスタンス、マルチリージョンの一括移行がサポートされます。移行元を複数回追加することができます。

- 4.4 **OK**をクリックすると、移行元情報リストに移行待ちのインスタンス情報が表示されます。操作列で**移行先の追加**をクリックし、移行先の情報を設定できます。
- 4.5 **移行先の追加**画面で、リージョンと移行先のタイプを設定します。

アイテム	入力必須	説明
移行先リージョン	はい	移行元サーバーの移行先となるTencent Cloudリージョン。リージョンについては、 リージョンとアベイラビリティゾーン をご参照ください。
移行先タイプ	はい	Tencent Cloud に移行する移行元サーバーのターゲットタイプを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ● CVMイメージ: 移行完了後、移行元サーバーのCVMイメージが生成されます。イメージ名: 移行元に対して生成されるターゲットCVM イメージの名前。イメージ名がターゲット

リージョンにすでに存在する場合、移行タスクはイメージ名にタスク ID を自動的に追加します。

- **CVMインスタンス:** 移行先リージョン内のCVMインスタンスを移行先として選択します。移行先インスタンス: 移行先CVMインスタンスと移行元サーバーには同じOSを使用することをお勧めします。例えば、CentOS 7 移行元サーバーを移行する場合、移行先として CentOS 7 CVM を選択します。さらに、移行先CVMインスタンスのシステムディスクとデータディスクの容量は、移行元サーバーの容量よりも大きい必要があります。

5. 「新規作成」をクリックして移行タスクを開始します。次のようなメッセージが表示されますので、ご注意ください。

- 移行元でタスクの実行が時間かかりますので、しばらく経ってからコンソールで進捗状況を確認できません。
- 移行元サーバー環境の異常や誤った情報により移行元のインポートに失敗した場合、Tencent Cloudコンソールに失敗の原因を表示しない可能性があります。この場合、タスクを再作成するか、[オンライン移行]をご利用ください。

手順3: 移行後の確認

1. 移行状態と進行状況の確認

正常に作成された移行タスクは自動的に実行されます。[移行元ページ](#) で移行元の情報を確認できます。また、[移行タスク](#) ページでタスクの進行状況を確認できます。

- 移行先がCVMの場合、移行開始後に移行先CVMは移行モードに入ります。移行を完了して移行モードが終了するまで、移行先CVMに対してシステムの再インストール、シャットダウン、破棄、パスワードのリセットなどの操作を行わないでください。
- 移行先がCVMイメージの場合、移行開始後にアカウント下に `do_not_delete_csm_instance` という名前のリレーインスタンスが作成されます。移行が完了して、今回作成されたリレーインスタンスが自動的に破棄されるまで、リレーインスタンスに対してシステムの再インストール、シャットダウン、破棄、パスワードのリセットなどの操作を行わないでください。

2. 移行タスクの完了を待つ

移行タスクのステータスが**成功**になると、移行処理が正常に完了したことを示します。下図に示すとおり:



📢 説明:

- データ転送の消費時間は、移行元データのサイズ、ネットワーク帯域幅などの要因に左右されません。移行が完了するまでお待ちください。
- 移行タスクの開始後、移行タスクのある行で**一時停止**をクリックすると、移行タスクを停止できません。
- 移行ツールはデータ転送の中断からの再開をサポートしています。タスクの一時停止後、**開始/リトライ**をクリックすると、前回一時停止したポイントから移行を継続できます。
- 移行タスクはデータ転送段階での一時停止のみサポートしています。コンソールでの移行タスク中に**一時停止**をクリックすると、移行ツールはデータ転送段階でデータの転送を一時停止します。
- 移行中に消費時間が長くなりすぎ、今回の移行を中止したい場合は、まず移行タスクを一時停止してから**削除**をクリックすると、今回の移行タスクをキャンセルすることができます。

3. 移行後のチェック

- **移行に失敗した場合：** ログファイル（デフォルトでは移行ディレクトリ下のログファイル）に出力されている内容を確認し、操作ガイドまたは tag2サーバー移行に関するよくあるご質問tag2 ドキュメントを参照し、問題のトラブルシューティングを行ってください。問題を解決した後、移行タスクの操作列で**開始/リトライ**をクリックすると、移行タスクを再開できます。
- **移行に成功した場合：**
 - 移行先がCVMの場合は、移行先CVMが正常に起動できるか、移行先CVMのデータが移行元サーバーと一致しているか、ネットワークが正常か、他のシステムサービスが正常かなどを確認してください。
 - 移行先がCVMイメージの場合は、移行タスクのある行の「CVMイメージID」をクリックし、[CVMイメージページ](#)に進むとこのイメージの情報を確認でき、このイメージを使用してCVMインスタンスを作成することができます。

ご質問がある場合や移行エラーが発生した場合は、[サービス移行に関するFAQ](#) を参照するか、[お問い合わせ]ください。

移行ツールに関する説明

互換性とツール設定に関する説明

最終更新日: : 2025-09-08 16:31:51

サポートされているオペレーティングシステム

現在オンラインマイグレーションツールがサポートする移行元サーバーのOSは以下を含みますが、これらのOSに限定されません。

Linux OS	Windows OS
CentOS 5/6/7/8	
Ubuntu 10/12/14/16/18/20	
Debian 7/8/9/10	
SUSE 11/12/15	Windows Server 2008
openSUSE 42	Windows Server 2012
Amazon Linux AMI	Windows Server 2016
Red Hat 5/6/7/8	Windows Server 2019
Oracle Linux 5/6/7/8	Windows Server 2022

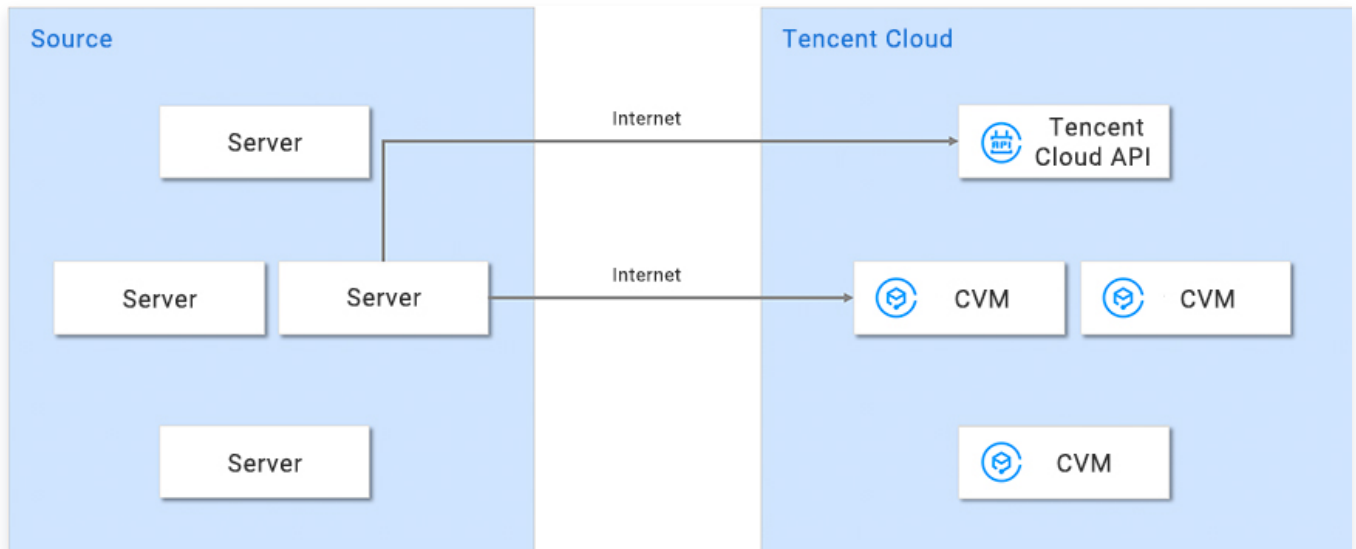
サポートされているマイグレーションモード

パブリックネットワークマイグレーションモード

お客様の移行元サーバーと移行先CVMの両方にパブリックネットワークアクセス機能がある場合は、パブリックネットワークマイグレーションモードを使用してマイグレーションができます。

現在のパブリックネットワークマイグレーションモードでは、移行元サーバーはインターネット経由で Tencent Cloud APIにアクセスし、マイグレーションリクエストを送信するとともに、データを移行先CVMに転送して、移行元サーバーをTencent Cloudの移行先CVMにマイグレーションします。パブリックネット

ワークマイグレーションモードを下図に示します：

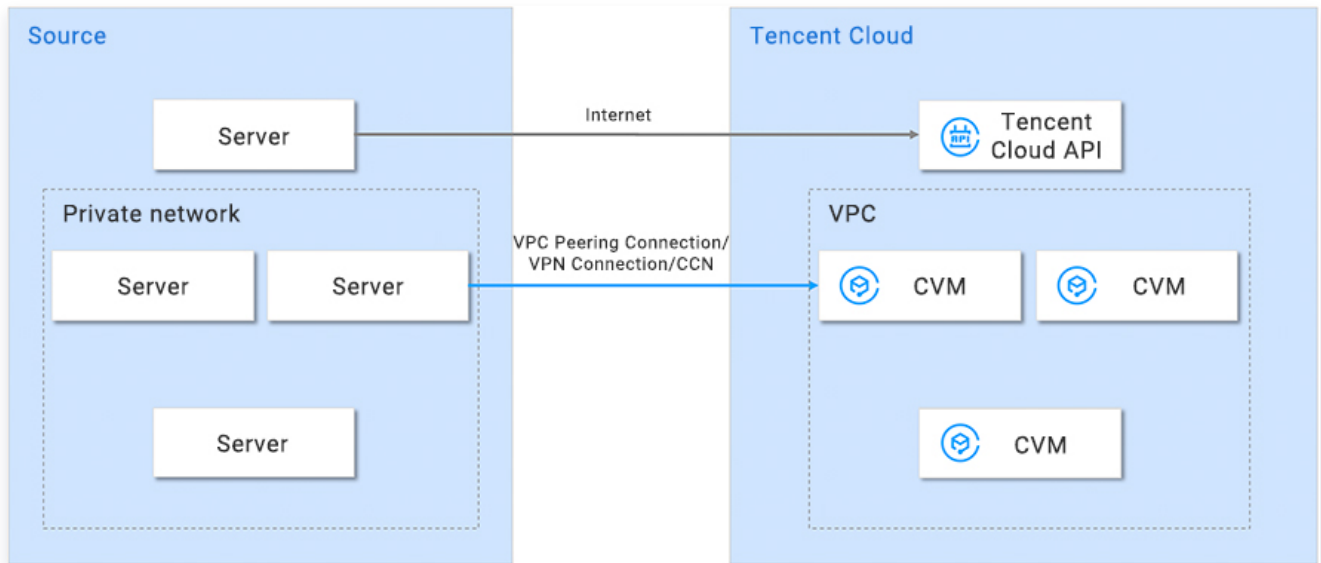


プライベートネットワークマイグレーションモード

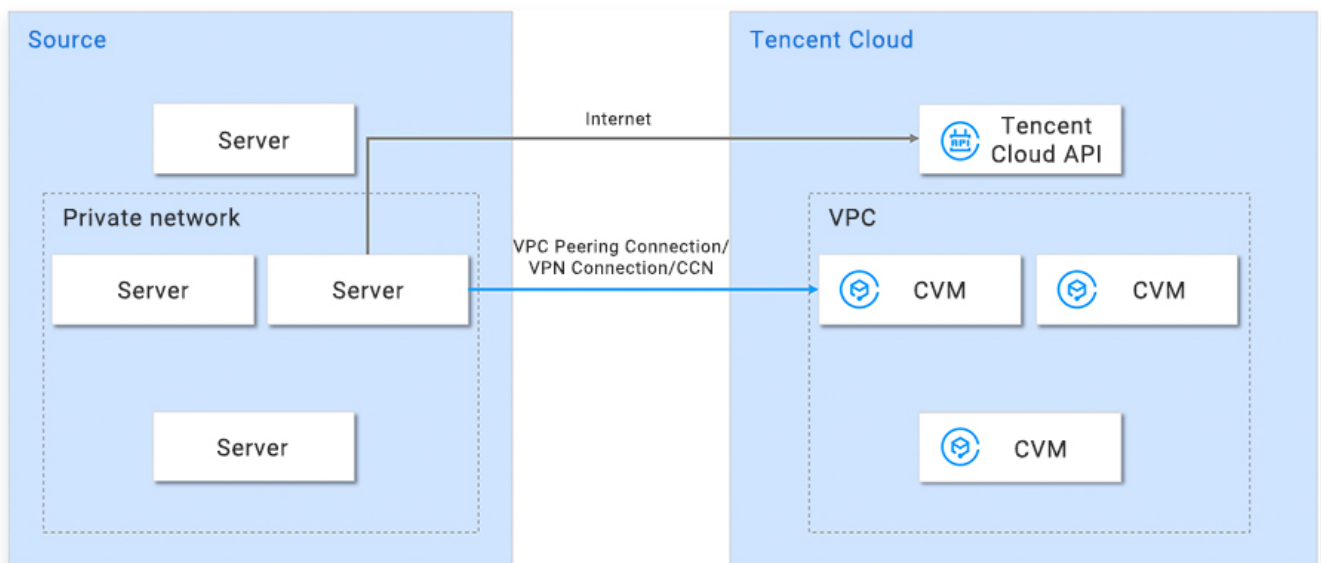
お客様の移行元サーバーまたは移行先CVMがプライベートネットワークまたはVPCにあり、移行元サーバーがインターネット経由で移行先クラウドサーバーとの接続を直接確立できない場合は、ツールのプライベートネットワークマイグレーションモードを使用してマイグレーションができます。[VPCピアリング接続](#)、[VPN接続](#)、[CCN](#) または [ダイレクト接続](#) といった方法で、移行元サーバーと移行先CVM間で接続チャネルを確立する必要があります。

- **シナリオ1:** (このシナリオは、[ツールを使用したマイグレーション](#) のみをサポートする) お客様の移行元サーバーまたは移行先CVMがパブリックネットワークにアクセスできない場合は、まずパブリックネットワークアクセス機能を備えたホスト (ゲートウェイなど) を介してインターネット経由でTencent Cloud APIにアクセスすることにより、マイグレーションリクエストを発することができます。次に、接続チャネルを介して移行先CVMにデータを送信してマイグレーションします。このシナリオでは、移行

元サーバーと移行先CVMにパブリックネットワークへのアクセス機能は必要ありません。

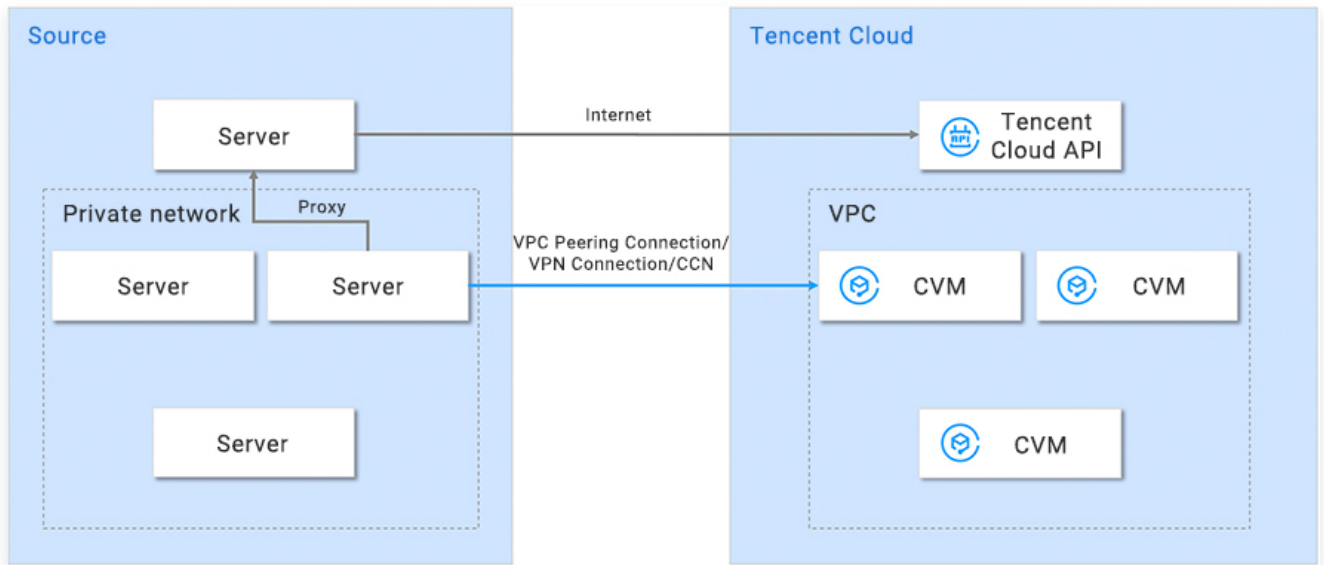


- **シナリオ2:** お客様の移行元サーバーがパブリックネットワークにアクセスできる場合、まずインターネット経由で移行元サーバー上のTencent Cloud APIにアクセスしてマイグレーションリクエストを発生してから、次に接続チャンネルを介して移行先CVMにデータを送信してマイグレーションすることができます。このシナリオでは、移行元サーバーにパブリックネットワークへのアクセス機能が必要ですが、移行先CVMには必要ありません。



- **シナリオ3:** お客様の移行元サーバーがプロキシ経由でパブリックネットワークにアクセスできる場合は、まずネットワークプロキシ経由で移行元サーバー上のTencent Cloud APIにアクセスしてマイグレーションリクエストを発生することができます。次に、接続チャンネルを介して移行先CVMにデータを送信してマイグレーションします。このシナリオでは、移行元サーバーと移行先CVMにパブリックネットワー

クへのアクセス機能は必要ありません。



圧縮パッケージファイルの説明

`go2tencentcloud.zip` を解凍後のファイルの説明は次のとおりです:

ファイル名	説明
<code>go2tencentcloud-linux.zip</code>	Linux OSのマイグレーション圧縮パッケージです。
<code>go2tencentcloud-windows.zip</code>	Windowsシステムのマイグレーション圧縮パッケージ。
<code>readme.txt</code>	ディレクトリ概要ファイルです。
<code>release_notes.txt</code>	マイグレーションツールの変更ログです。

`go2tencentcloud-linux.zip` を解凍後のファイルの説明は次のとおりです:

ファイル名	説明
<code>go2tencentcloud_x64</code>	64ビット Linux OS用の移行ツールの実行可能プログラム。
<code>go2tencentcloud_x32</code>	32ビット Linux OS用の移行ツールの実行可能プログラム。
<code>user.json</code>	マイグレーション時のユーザー情報です。
<code>client.json</code>	マイグレーションツールの設定ファイルです。

rsync_excludes_linux.txt	rsync構成ファイル。Linuxシステムで移行する必要のないファイルとディレクトリを除外します。
--------------------------	---

go2tencentcloud-windows.zip を解凍後のファイルの説明は次のとおりです：

ファイル名	説明
go2tencentcloud_x64.exe	64ビットのWindowsシステムのマイグレーションツールで実行可能なプログラムです。
user.json	マイグレーション時のユーザー情報です。
client.json	マイグレーションツールの設定ファイルです。
client.exe	Windowsシステムの移行で実行可能なプログラムです。

⚠️ ご注意：

設定ファイルは削除できません。設定ファイルはgo2tencentcloudの実行可能なプログラムと同じ階層のディレクトリ下に置いてください。

user.jsonファイルパラメータの説明

user.json設定ファイルの説明は下表のとおりです：

パラメータ名	タイプ	入力必須かどうか	説明
SecretId	String	はい	APIにアクセスするためにアカウントで使用されるSecretIdです。詳細については、 アクセスキー をご参照ください。
SecretKey	String	はい	APIにアクセスするためにアカウントで使用されるSecretIdです。詳細については、 アクセスキー をご参照ください。

client.json ファイルパラメータの説明

client.json設定ファイルの一部の説明は下表のとおりです：

パラメータ名	タイプ	入力必須かどうか	説明
--------	-----	----------	----

Client.Extra.IgnoreCheck	Boolean	いいえ	デフォルト値は false であり、マイグレーションツールはデフォルトではツールの実行開始時に移行元サーバーの環境を自動的にチェックします。チェックを省略したい場合は、true に設定してください。
Client.Extra.Daemon	Boolean	いいえ	デフォルト値は false です。バックグラウンドでマイグレーションツールを実行する必要がある場合、true に設定してください。
Client.Net.Proxy.Ip	String	いいえ	デフォルト値は NULL です。マイグレーションシナリオがプライベートネットワークのマイグレーション シナリオ3 である場合、ネットワークプロキシのIPアドレスを設定してください。
Client.Net.Proxy.Ipv6	Boolean	いいえ	デフォルト値は false です。IPv6（マイグレーション時に移行元または移行先にはIPv6のIPしかないなど）でデータを転送する場合、このオプションに true を設定してください。そうしないと、マイグレーションのトラフィックはIPv4で転送されます。
Client.Net.Proxy.Port	String	いいえ	デフォルト値は NULL です。マイグレーションシナリオがプライベートネットワークのマイグレーション シナリオ3 である場合、ネットワークプロキシポートを設定してください。
Client.Net.Proxy.User	String	いいえ	デフォルト値は NULL です。マイグレーションシナリオがプライベートネットワークのマイグレーション シナリオ3 で、ネットワークプロキシには認証が必要である場合、ネットワークプロキシユーザー名を設定してください。
Client.Net.Proxy.Password	String	いいえ	デフォルト値は NULL です。マイグレーションシナリオがプライベートネットワークのマイグレーション シナリオ3 で、ネットワークプロキシには認証が必要である場合、ネットワークプロキシパスワードを設定してください。

! 説明:

上記のパラメータを除き、client.jsonファイルのその他の設定項目は通常は入力不要です。

rsync_excludes_linux.txtファイル説明

このファイルは、移行や転送が不要なLinuxの移行元サーバーのファイル、または指定されたディレクトリにある設定ファイルを除外するために使用されます。次のディレクトリとファイルはデフォルトで除外されていますので、設定を削除または変更しないでください。

```
/dev/*
/sys/*
```

```
/proc/*
/var/cache/yum/*
/lost+found/*
/var/lib/lxcfs/*
/var/lib/docker-storage.btrfs/root/.local/share/gvfs-metadata/*
```

他のディレクトリやファイルを削除する必要がある場合は、このファイルの最後に内容を追加してください。例えば、`/mnt/disk1` にマウントされているデータディスクのすべての内容は削除されます。

```
/dev/*
/sys/*
/proc/*
/var/cache/yum/*
/lost+found/*
/var/lib/lxcfs/*
/var/lib/docker-storage.btrfs/root/.local/share/gvfs-metadata/*
/mnt/disk1/*
```

ツールの実行パラメータの説明

パラメータオプション	説明
<code>--help</code>	ヘルプ情報を印刷します。
<code>--check</code>	移行元サーバーをチェックします
<code>--log-file</code>	ログファイルの名前を設定します。デフォルトはlogです。
<code>--log-level</code>	ログ出力レベルです。値の範囲は1 (ERRORレベル) 、2 (INFOレベル) 、3 (DEBUGレベル) です。デフォルト値は2です。
<code>--version</code>	バージョン番号を印刷します。
<code>--clean</code>	マイグレーションタスクを中止します。

移行時間の見積もり

最終更新日: 2022-05-07 16:28:41

このドキュメントでは、オンラインマイグレーションによって、ソースサーバー上のシステム、アプリケーションプログラムなどを自分で作成したコンピュータルーム (IDC) やクラウドプラットフォームなどのソース環境から Tencent Cloud CVMに移行する場合にかかる時間を予測する方法についてご紹介します。

移行時間は主に移行中のデータ転送速度の影響を受けます。移行元サーバーから移行先リージョンのサーバー間の転送速度をテストすることで、移行時間を予測できます。

異なるシナリオにおける移行時間の予測

シナリオ1

移行タスクの移行先タイプがCVMの場合、移行時間は主に実際のデータ転送時間であると予測されます。

例えば、移行元サーバーの移行対象の全ディスクデータの実際の使用量が50GB、アウトバウンド帯域幅が100Mbpsの場合、全体の移行時間は1.14時間と予測されます。手順は次のとおりです:

1. 単位の換算
 - 実際のブロードバンド速度をMB/sに換算します。 $100\text{Mbps} = 100 / 8 = 12.5\text{MB/s}$
 - 実際のディスクデータ量をMBに換算します。 $50\text{GB} = 50 \times 1024 = 51200\text{MB}$
2. 実際のデータ移行時間の推定 $51200 / 12.5 = 4096\text{秒} = 1.14\text{時間}$

シナリオ2

移行タスクの移行先タイプがCVMイメージの場合、移行時間には主に実際のデータ転送時間およびイメージ制作時間が含まれます。

例えば、移行元サーバーの移行対象の全ディスクデータの実際の使用量が50GB、アウトバウンド帯域幅が100Mbpsの場合、全体の移行時間は1.23時間と予測されます。手順は次のとおりです:

1. 単位の換算
 - 実際のブロードバンド速度をMB/sに換算します。 $100\text{Mbps} = 100/8 = 12.5\text{MB/s}$
 - 実際のディスクデータ量をMBに換算します。 $50\text{GB} = 50 \times 1024 = 51200\text{MB}$
2. 実際のデータ移行時間の推定 $51200 / 12.5 = 4096\text{秒} = 1.14\text{時間}$
3. イメージ制作時間です。制作速度は約160MB/s $51200 / 160 = 320\text{秒} = 0.089\text{時間}$
4. 総移行時間 $1.14+0.089=1.23\text{時間}$ 。

関連操作: データ転送速度のテスト

iperf3ツールを使用してデータ転送速度をテストすることができます。例えば、クライアントからサーバーまでのデータ転送の帯域幅、速度などをテストします。

転送速度の影響因子

- 移行元サーバーのアウトバウンド帯域幅と移行先インスタンスのインバウンド帯域幅。
例えば、移行元サーバーのアウトバウンド帯域幅が50Mbps、移行先インスタンスのインバウンド帯域幅が100Mbpsの場合、理論上、実際の転送速度は50Mbpsを超えることはありません。
- 移行中は常に帯域幅を完全に占有するわけではありません。移行中は移行先のインスタンス（または中継インスタンス）のインバウンド帯域幅を動的に調整することができます。
- 移行元サーバーと移行先インスタンスが異なるリージョンにある場合、同じリージョンにある場合と比べて転送速度は遅くなります。

❗ 説明:

- コンソールによるオンラインマイグレーションの場合、移行先がCVMイメージであれば、移行中に中継インスタンス（名称はdo_not_delete_csm_instance）が作成されることがあります。帯域幅上限は50Mbpsです。
- 移行中はコンソール上で移行先のインスタンス（または中継インスタンス）のインバウンド帯域幅を動的に調整し、移行速度を制御することができます。

Tencent Cloud Linux CVMに移行する場合の速度テスト

例えば、コンソールのオンラインマイグレーション機能により、サーバーをTencent Cloud CentOS 7.5インスタンスに移行する場合、その転送速度のテスト手順は次のようになります:

1. 移行先リージョンに従量課金のCentOS 7.5インスタンスを作成します。

❗ 説明:

- 移行先がCVMイメージであれば、移行中にCentOS 7.5の中継インスタンスが作成されることがあります。速度のテストを行いたい場合は、標準型かつCPU、メモリ構成が比較的低いマシンモデルを選択し、実際の移行時のシナリオにより近づけて行うことをお勧めします。
- iperf3サーバーのデフォルトポートはTCP 5201であり、テストするCentOS 7.5インスタンスのセキュリティグループのインバウンド方向にTCP 5201ポートを追加および開放してください。

2. 移行先のテストインスタンスと移行元サーバーにそれぞれiperf3ツールをインストールします。

- 次のコマンドを実行し、移行先のCentOS 7.5インスタンスにiperf3ツールをインストールします。

```
yum -y install iperf3
```

- 移行元サーバーにiperf3ツールをインストールします。移行元サーバーのLinuxリリースバージョンに応じて、対応するインストールコマンドを使用してiperf3ツールをインストールしてください。

3. 次のコマンドを実行し、移行先のCentOS 7.5テストインスタンスのiperf3をサーバーとして起動します。

```
iperf3 -s
```

「Server listening on 5201」などのメッセージが返されれば、起動は成功です。

4. 次のコマンドを実行し、移行元サーバーでiperf3をクライアントとして起動します。

```
iperf3 -c [移行先インスタンスIP]
```

返されるテスト結果は次のように表示され、移行元サーバーとCentOS 7.5テストインスタンス間の転送速度はおよそ111Mbpsであることがわかります。

```
[root@VM-0-48-centos ~]# iperf3 -c [移行先インスタンスIP]
Connecting to host [移行先インスタンスIP], port 5201
[ 4] local 10.0.0.48 port 50682 connected to [移行先インスタンスIP] port 5201
[ ID] Interval           Transfer     Bandwidth   Retr  Cwnd
[ 4]  0.00-1.00   sec    24.2 MBytes  203 Mbits/sec  693  8.27 KBytes
[ 4]  1.00-2.00   sec    12.1 MBytes  101 Mbits/sec  479  6.89 KBytes
[ 4]  2.00-3.00   sec    12.0 MBytes  101 Mbits/sec  509  8.27 KBytes
[ 4]  3.00-4.00   sec    12.1 MBytes  102 Mbits/sec  468  8.27 KBytes
[ 4]  4.00-5.00   sec    11.9 MBytes  100 Mbits/sec  430  5.52 KBytes
[ 4]  5.00-6.00   sec    12.1 MBytes  101 Mbits/sec  471  9.65 KBytes
[ 4]  6.00-7.00   sec    12.2 MBytes  102 Mbits/sec  480  11.0 KBytes
[ 4]  7.00-8.00   sec    12.1 MBytes  101 Mbits/sec  543  11.0 KBytes
[ 4]  8.00-9.00   sec    12.0 MBytes  101 Mbits/sec  526  6.89 KBytes
[ 4]  9.00-10.00  sec    12.1 MBytes  101 Mbits/sec  426  8.27 KBytes
-----
[ ID] Interval           Transfer     Bandwidth   Retr
[ 4]  0.00-10.00  sec    133 MBytes  111 Mbits/sec  5025
[ 4]  0.00-10.00  sec    133 MBytes  111 Mbits/sec
                                     sender
                                     receiver
```

移行の課金に関する説明

最終更新日: 2023-04-28 17:34:15

サービスの移行は無料ですが、移行ツールの使用についてはトランジットインスタンス、ネットワークなどの料金がかかる場合があります。このドキュメントでは、サービスの移行を使用するときが発生する料金と課金方法について説明します。

トランジットインスタンス

- 移行先がCVMイメージの場合、移行開始後にお客様のアカウントの下に「do_not_delete_csm_instance」と呼ばれるトランジットが作成され、インスタンス料金とクラウドディスク料金などが発生します。
- 課金方式: [従量課金](#)
- 移行が完了するまでトランジットインスタンスの再インストール、シャットダウン、破棄、パスワードのリセットなどは行わないでください。移行が完了すると、今回作成されたトランジットインスタンスが自動的に破棄されます。

パブリックネットワークトラフィック

オンライン移行には、次のようなトラフィックが発生します。料金は次のとおりです。

- パブリックネットワークを使用した移行では、移行元のインスタンスが固定帯域幅の場合、追加料金は発生しません。移行先はインバウンドトラフィックであり、料金は発生しません。
- パブリックネットワークを使用した移行では、移行元のインスタンスが使用量に応じて課金されている場合、移行元のインスタンスにネットワーク料金が発生します。移行先はインバウンドトラフィックであり、料金は発生しません。
- [VPCピアリング接続](#)、[VPN接続](#)、[CCN](#) または [ダイレクト接続](#) などの方法を介して接続チャネルを確立します。費用については具体的なネットワーク料金をご参照ください。

オフライン移行

最終更新日： 2023-06-25 17:55:06

このドキュメントでは、インスタンスとデータをオフラインで移行する方法について説明します。

概要

サービス移行は、企業のクラウド移行を加速することに役立つ、Tencent Cloud によって開発された移行プラットフォームです。この移行プラットフォームを使用すると、OS、アプリケーション、およびアプリケーションデータをソースサーバーからCloud Virtual Machine (CVM) インスタンスまたはCloud Block Storage (CBS) インスタンスに移行できます。これは、クラウド化、クロスクラウド移行、クロスアカウントまたはクロスリージョン移行、およびハイブリッドクラウド展開に対する企業のニーズを満たすのに役立ちます。

サービス移行には、オフラインとオンラインの両方の移行がサポートされます。オフライン移行は、次の2つのタイプに分かれます。

- **CVMへの移行**：システムディスクイメージ（または必要に応じてシステムディスクイメージとデータディスクイメージの両方）を特定のCVMインスタンスに移行できます。
- **CBSへの移行**：データディスクイメージを指定のクラウドディスクに移行できます。

前提条件

オフライン移行には、Cloud Object Storage (COS) のサポートが必要です。所在リージョンで COS が利用可能であることを確認してください。

現在COSでサポートされているリージョンについては、[リージョンとアクセスドメイン名](#) をご参照ください。

準備作業

⚠️ ご注意:

- 現在、Tencent Cloudのサービス移行でサポートされているイメージ形式は、qcow2、vhd、vmdk、および raw です。伝送と移行の時間を短縮するために、圧縮イメージ形式を使用することをお勧めします。
- アップロードするイメージは、宛先CVMインスタンスと同じリージョンのCOSバケットに保存する必要があります。さらに、COSバケットはパブリック読み取りアクセスを許可する必要があります。
- システムディスクイメージとデータディスクイメージの両方をインポートする必要がある場合は、対応する数のデータディスクをターゲットインスタンスにマウントする必要があります。
- ターゲットディスクの容量はソースディスクの容量以上である必要があります。
- オフライン移行では、スナップショットファイル（-00000.vmdkなどのファイル名を持つスナップショットファイル）の移行はサポートされていません。

- イメージ制作ドキュメントに従って、ソースサーバーのイメージを作成します。

- Windows の場合は、 [Windowsイメージの作成](#) をご参照ください。
- Linux の場合は、 [Linuxイメージの作成](#) をご参照ください。
- 作成したイメージファイルをCOSにアップロードします。
- イメージサイズが大きいため、ブラウザからアップロードすると失敗する場合があります。 イメージをアップロードするには COSCMD ツールを使用することをお勧めします。操作の詳細については、 [COSCMD ツール](#) をご参照ください。
- 他のクラウドプラットフォームからエクスポートされたイメージが圧縮パッケージ (.tar.gz ファイルなど) である場合、それらをCOSに直接アップロードできます。
- アップロードしたイメージのCOSアドレスを取得します。
[COSコンソール](#) に移動し、アップロードしたイメージファイルを見つけて、イメージファイルの詳細ページで一時リンクをコピーします。
- 移行するCVMまたはCBSインスタンスを用意します。
- [CVMの購入に進む](#)
- [CBS購入ガイドライン](#)

操作手順

CVMへの移行

1. CVMコンソールにログインし、左側ナビゲーションの [サービス移行](#) をクリックします。
2. 「オフライン移行」ページで「CVMに移行」をクリックします。
3. 「CVMに移行」画面が表示されます。この画面で準備を完了し、「次へ」をクリックします。
4. リージョンを選択し、タスク名、COS リンク、移行先のCVMインスタンスなどの情報を入力します。下図に示すとおりです。

Migrate to CVM

1 Preparation > 2 Configuration

Note: when you migrate your server to a CVM instance, all data in the system disk of the CVM are overwritten. You need to shut down the CVM before migration.

- Before you start, create a snapshot to back up your data to avoid data loss. [Learn more](#)
- Data disks of the destination CVM are not cleared. But you need to attach the disks manually after the migration. [Learn more](#)

Region:

Note: the region must be the same as the COS bucket region selected when you uploaded the image

Task name:

COS link:

Enter the link of the image file in COS

Please select instances to migrate

ID/Name	Operating system	IP address	Configuration
<input type="checkbox"/>	TencentOS Server 2.2 (Final)		1-core 1 GB 1Mbps System disk: Premium Cloud Storage Network: test

Total items: 1 20 / page 1 / 1 page

Add data disk image

5. 完了をクリックすると、移行タスクを正常に作成します。

移行中に [サービス移行](#) ページを終了または閉じることができます。また、いつでもこのページに戻って移行の進捗状況を確認することができます。

CBSへの移行

- CVMコンソールにログインし、左側ナビゲーションの [サービス移行](#) をクリックします。
- 「オフライン移行」ページで「CBSに移行」をクリックします。
- 「CBSに移行」画面が表示されます。この画面で準備を完了し、「次へ」をクリックします。

4. リージョンを選択し、タスク名、COS リンク、移行先のCBSインスタンスなどの情報を入力します。下図に示すとおりです。

Migrate to CBS

✓ Preparation > 2 Configuration

Note: when you migrate a disk to a Tencent Cloud cloud disk, all data in the destination cloud disk are cleared and cannot be recovered. Before you start, please create a snapshot to back up your data to avoid data loss. For details, please see [Operation Guide](#)

Region:

Note: the region must be the same as the COS bucket region selected when you uploaded the image

Task name:

COS link:

Enter the link of the image file in COS

Please select the destination cloud disk

ID/Name	Status	Capacity	Type
No data yet			

Total items: 0 20 / page 1 / 1 page

5. 完了をクリックすると、移行タスクを正常に作成します。
移行中に [サービス移行](#) ページを終了または閉じることができます。また、いつでもこのページに戻って移行の進捗状況を確認することができます。

よくあるご質問

詳細については、[サービス移行](#) をご参照ください。

移行に関するご相談

最終更新日：： 2023-05-12 17:11:45

弊社WEBサイトをご覧ください、誠にありがとうございます。

サービスの移行中に問題が発生した場合、または改善提案やご意見などがある場合は、いつでもお気軽に弊社までご連絡くださいませ！

チケットシステム

弊社の製品をご使用中にトラブルが発生した場合は、Tencent Cloudコンソールにログインし、画面の指示に従ってチケットを送信できます。お問い合わせ内容の確認後、担当者より、できるだけ早くご連絡させていただきます。

チケットリンク:

- サポートチケットの送信: [チケットの送信](#)
- チケットステータスの照会: [チケットリスト](#)